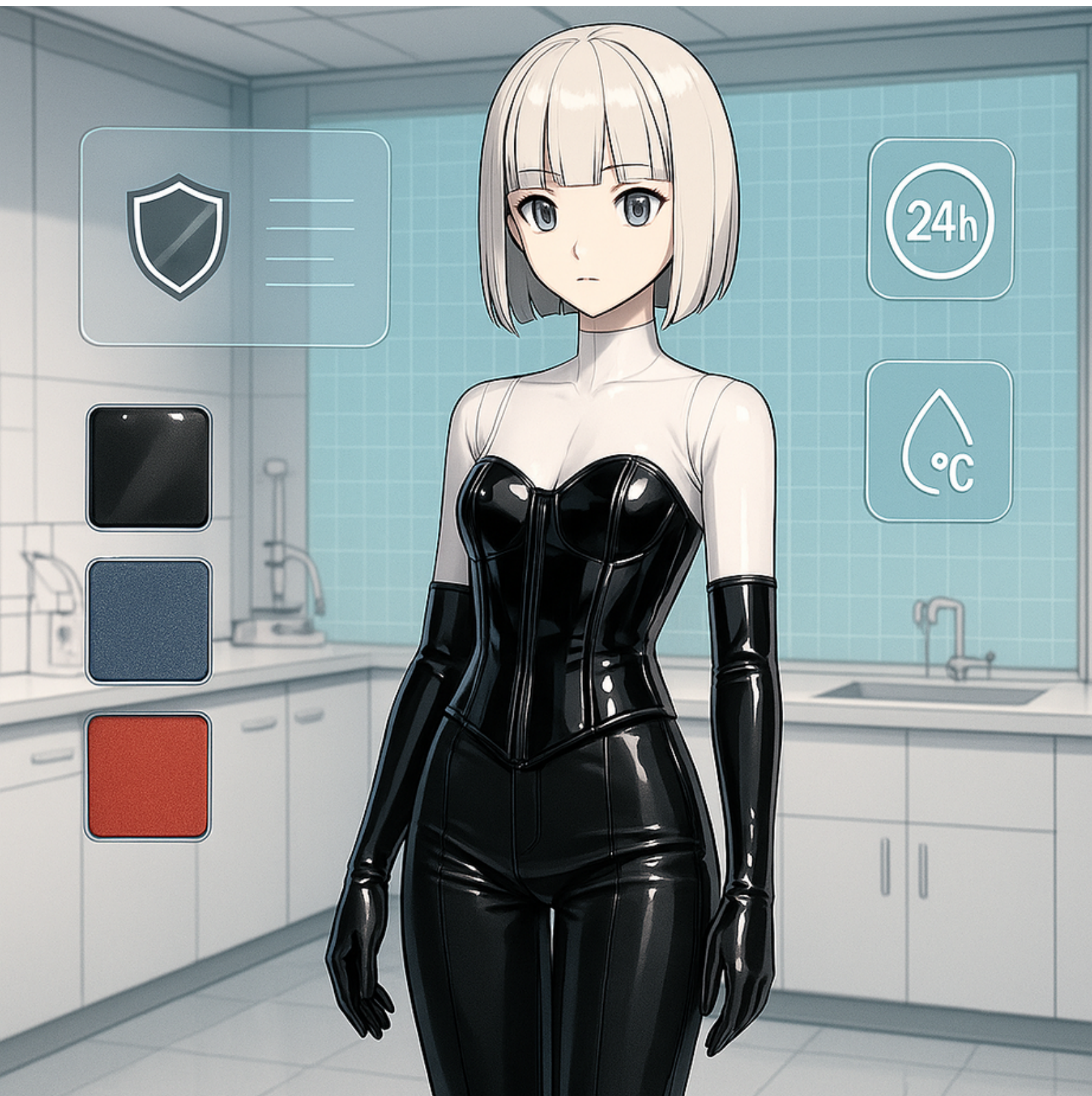


シームレスボディ 色移り対策ミニ冊子

IRIS12DDA (PU Leather Lab)

v1.0 / Free leaflet for BOOTH buyers



1. 本冊子の目的と対象
2. 色移りのしくみ（なぜ起こる？）
3. 危険度マップ（素材×色）
4. 予防の基本ルール（運用フロー）
5. 装着前の「24時間テスト」手順
6. バリア&インナーの使い方
7. 展示・撮影・保管の実践Tips
8. もし色移りが起きたら（段階別プロトコル）
9. よくある質問（FAQ）
10. 付録A：1週間運用チェックシート／付録B：クイックカード（英語併記）

1) 本冊子の目的と対象

- **目的：**TBLeague/Phicenなどの**TPE製シームレスボディ**（1/6～1/4中心）で、衣装からの**色移り（染料移行）**を**予防**し、万一の際の**安全な対処**をガイド化すること。
- **対象：**黒・濃色のPU/フェイクレザー、デニム、濃色ニット、プリント布などを着せる撮影／展示ユーザー。
- **前提：**本冊子は**一般的な実務知見**をまとめた参考資料です。メーカー公式の注意がある場合は**そちらを優先**してください。

2) 色移りのしくみ（なぜ起こる？）



色移り＝染料・顔料・可塑剤が、温度・圧力・時間・湿度の要因で、シリコン表面へ移動・拡散する現象。 - **材料要因：** - **高リスク：**黒・紺・赤など濃色、PU/PVC（合皮）、デニム、合成皮革の裏地塗工、安定していない染料。 - **中リスク：**濃色コットン/レーヨン/ポリエステル、昇華プリント。 - **低リスク：**白／淡色、ナイロン薄手、未染色の合成繊維。 - **環境要因：**高温（>28℃）、高湿、長時間密着、強い圧縮、暗所（酸化しにくい＝逆に移行しやすい場合あり）。 - **ボディ要因：**TPEは**可塑剤を含むため、油性成分に染料が溶け込みやすい**。シリコンボディも移染はゼロではないが、TPEよりは耐性がある傾向。

3) 危険度マップ（素材×色）



※「最高」＝長時間密着禁止。短時間撮影のみ推奨。

素材/仕立て	白・淡色	中間色	濃色（黒/紺/赤）
PU/エナメル（合皮）表地	低	中	高
PU/合皮の裏地コート（樹脂塗工）	中	高	最高
デニム（インディゴ）	中	高	最高
綿/ポリの濃色ニット・カットソー	低	中	高
ナイロン薄手（白/ベージュ）	最小	低	中
昇華プリント（ポリ）	低	中	高

4) 予防の基本ルール（運用フロー）

開封→事前テスト→バリア準備→装着→展示/撮影→休息→保管

A. 開封時 - 濃色アイテムは洗淨テスト（中性洗剤で軽く押し洗い→可視的な色落ち確認）。 - 乾燥は陰干し24h以上。

B. 事前テスト（服×ボディ） - 本番前に「24時間テスト」（→ 第5章）を必ず実施。

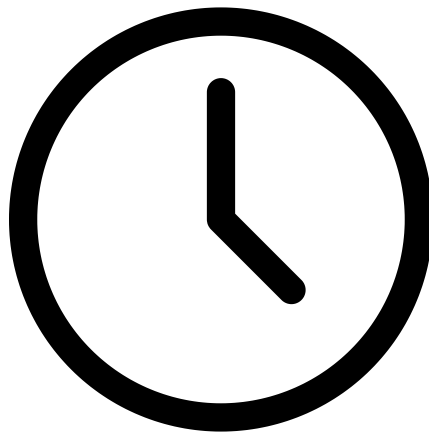
C. バリア準備 - サランラップをボディーに巻くと効果的です。

そのほかにナイロン/ポリエステル薄手インナー、保護ソックス/スリーブ、白色タイツを体の接触部に。 - 服の内側に白いライナー布（薄手ナイロン/ポリ）を縫い合わせると効果大。

D. 展示・撮影 - 撮影は短時間（目安：1～3時間以内）。展示は6～8時間ごとに脱がせて休息。 - 暑い部屋、直射日光＋高温、密閉ケースの高温多湿は避ける。

E. 休息・保管 - 撮影後は衣装を外し、無色パウダー（コーンスターチやタルク）で軽く表面を整え、通気の良い場所で保管。

5) 「24時間テスト」の手順（必須）



1. 見えない箇所（太もも裏・胴体側面など）に、バリア無しで衣装を軽く当てて固定。
2. 室温20-25℃、湿度40-60%で24時間放置。
3. 外して変色が無い→実使用へ。薄い影が出た→インナー必須か短時間運用のみ。
4. 明確な移染が出た→そのまま使用しない。白ライナー追加または淡色インナーを導入。

時間がない場合の簡易版：6時間テスト（推奨は24h）。

6) バリア＆インナーの使い方



- **全身インナーorサランラップ**：薄手の**白/ベージュ ナイロン・ポリエステル**ボディスーツ。関節や腋・股・胸下など**密着部**をカバー。服が触れる部分にサランラップを巻くとローコストにバリアできます。
- **部分用スリーブ**：腕・脚・胴回りの**白チューブ状ライナー**orサランラップ（伸縮メッシュ）。
- **白ライナーの縫い付け**：衣装内側に**薄手白布**を手縫い／両面テープ（布用）で点止め。
- **ベビーパウダー/タルク**：装着前にうすく。摩擦低減と汗・湿気対策。

7) 展示・撮影・保管の実践Tips

- **指示棒/ピンセット**で装着し、**指の圧痕**を残さない。
- **ジッパー/金具の当たり**には**白テープ**や**ライナー**で保護。
- **ポーズ維持**は短時間。圧締が強い箇所（脇・股・ウエスト）は定期的に緩める。
- **ケース内温度**を上げない（LED照明の熱にも注意）。
- **長期保管**は**白/淡色の布**でゆったり包み、**脱衣**が基本。

8) もし色移りが起きたら（段階別プロトコル）

原則：溶剤（アルコール・シンナー等）を使わない。研磨もしない。

レベル1：軽い表面移染（直後に気付いた） - 無香料ベビーオイル（またはミネラルオイル）を綿棒でごく薄く塗布→やさしく拭き取り→中性洗剤で軽く洗って乾燥。 - これを数回繰り返す。1回で落とそうとしない。

レベル2：固着した染み（数時間～数日後に発見） - ベンゾイル過酸化物（BPO）10%のニキビ用クリームを極薄に塗布し、通気性フィルムで軽く覆う。 - 24～72時間置いて拭き取り→パウダーで整える。必要なら複数回。※シリコンの状態により効果差あり。

レベル3：広範囲・濃色の深い移染 - 無理に除去しようとする**と表面を荒らす恐れ**。専門家・メーカーに相談。 - 見えない位置へ**メイク補正**、撮影は**ライティングレタッチ**で対応するのも選択肢。

＊ラブドール用のシリコンボディー用脱色剤かドール用脱色だ剤を使用することをお勧めします

注意：アルコール・アセトン・シンナーはシリコンを劣化させるため**使用禁止**。メラミンスポンジも擦りすぎ**厳禁**。

9) よくある質問 (FAQ)

Q1. 黒のPUは全てダメ? A. 短時間撮影+バリア運用なら可。24hテストで個体差を確認し、展示はこまめな休息を。高級PUレザーやエナメルの場合沈着しないものもあります

Q2. 白いインナーは写ってしまうA. 見えない範囲（胴回り・二の腕・太もも）に部分ライナーを。透けにくいベージュも有効。

Q3. どのくらいの頻度で脱がせる? A. 撮影日は1〜3時間ごと、展示は6〜8時間でいったん脱がせて点検。

Q4. パウダーは必要? A. 薄くでOK。摩擦低減とテカリ防止。塗りすぎはホコリを呼ぶ。

Q5. 夏場の運用は? A. 室温28℃以下、湿度60%以下を維持。ケース内の小型除湿が有効。

付録A: 1週間運用チェックシート

- 新作衣装は24hテスト済み
- インナー/ライナーの準備済み
- 撮影/展示タイマー設定 (3h/8h)
- 撮影後に脱衣→パウダー整え→通気保管
- 週末に全身点検 (影・色味・ベタつき)

運用ログ (例) - ○/○ (火) 19:00〜22:00 撮影 (黒PU) → 22:15 脱衣・点検 異常なし - ○/○ (木) ショーケース展示 12:00〜20:00 → 20:10 点検 うっすら影 → 次回インナー追加

付録B: クイックカード (英語併記 / 0円配布に同梱推奨)

色移り最小化の3原則 / 3 RULES to minimize staining1) **TEST 24h** on hidden area.2) **BARRIER** (white nylon liner/inner).3) **TIME** limit (shoot 1–3h, display break 6–8h).

NG: Alcohol/acetone/strong solvents, heavy rubbing, long tight contact in heat/humidity.

制作・免責

本冊子はIRIS12DDAがユーザー経験と一般知見をもとに作成した**情報提供用**です。使用結果についての責任は負いかねます。各ブランドの**公式ガイド**を優先してください。

© IRIS12DDA / PU Leather Lab**BOOTH:** (商品ページURLを挿入) **Instagram:**
@iris12_international_dolls

